Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格					
定　格	使用温度範囲	-40℃～ +85℃（注1） △2	保存温度範囲	-10℃～ +60℃（注2）	
	使用湿度範囲	40 %～ 80 %	保存湿度範囲	40 %～70 %（注2）	
	電　圧	AC 250V	UL・CSA 定格	電圧	AC 30V
	電　流	AWG22～26 : 2A AWG28 : 1A AWG30 : 0.5A		電流	AWG22 : 2A AWG24～28 : 1A AWG30 : 0.5A

性　能

	項　目	試　験　方　法	規　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	30 mΩ以下	○	－
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	－
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡･絶縁破壊がないこと。	○	－
機械的性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
	耐衝撃性	加速度 490 m/s^2、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1 μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～ 15 → 30 → 5～ 15分 を 5 ｻｲｸﾙ 試験する。	①接触抵抗：30 mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	－
	半田耐熱性	【 ﾘﾌﾛｰ半田付けの場合 】（注3） 《 ﾘﾌﾛｰ部 》MAX 250 ℃ 10 秒以内 230 ℃以上 60 秒以内 《 予熱部 》150～180 ℃ 90～120秒 ﾘﾌﾛｰ炉に 2 回通し、常温常湿中に 1 時間放置後、試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで 290 ± 10℃、 3 秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。	概観の変形、及び端子などの著しいガタがないこと。	○	－
	半田付け性	半田温度 230 ± 5℃、 浸漬時間 3 秒間の半田付けを行う。	半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。	○	－

備考
(注1)通電時の温度上昇を含みます。
(注2)基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
　　基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。
(注3)上記温度ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙは防湿梱包開封後168時間以内に適用。
　　防湿梱包開封後から168時間以上経過している場合は下記温度ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ条件を適用。
　　《ﾘﾌﾛｰ部》MAX 240℃, 10秒以内　、230℃, 60秒以内
　　《予熱部》150～180℃, 90～120秒

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△2	1	DIS-H-008540	MI.SAKIMURA	HK.UMEHARA	14.02.26

試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。

承　認	KJ.KATAYOSE	05.01.05
検　図	TY.OMA	05.01.05
担　当	IO.DENPOUYA	05.01.05
製　図	IO.DENPOUYA	05.01.05

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目

HRS	製品規格表	図番	SLC4-306439-01
		製品名	DF11CZ-*DS-2V(22)
	ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL543　△2　1/1

技書規２３１－１